

質問	回答
1 企業等が申請する場合、なぜ自治体の了解が必要か。	申請いただく際には「〇〇(自治体名)IoT推進ラボ」という名称となるため、自治体の了解が必要となります。
2 重要業績評価指標(KPI)を定量的に記載することになっているが、定量目標が示せないと応募できないということか。	目標が定量的であった方が、達成状況を把握しやすいと考えますが、定量的に示すことができないために、それだけで応募できないことにはなりません。地域の課題に沿った目標であれば、柔軟に対応したいと考えます。
3 申請したときの案件から、変更が生じることもあると思うが、それは構わないか。	問題ありません。例えば、第1章〇〇、第2章△△という形で追加していくことを想定しております。変更、追加が生じた際の事務手続きについては別途ご案内します。
4 例えば市が関与する際、県を通らずに申請する場合もあると思うが、県側として、どこが申請してるか教えてもらうことはできるか。	お問合せいただければ、市に確認を取った上で個別に対応いたします。
5 1つのラボの中に、色々な団体が関与している場合、その団体全員の意思疎通が必要か。	全員が意思疎通出来ている必要はありませんが、全体を知っているキーパーソンや事務局はいていただきたいと思います。
6 1つのラボの中に、複数の取組がある場合、それぞれの案件ごとでキーパーソンが複数存在しても良いか。	複数案件の間に関連性がない場合には、キーパーソンが複数存在することは考えられます。他方、ラボとしての全体の一体感は事務局で出していきたいと思います。
7 1つのラボの中に、1つの企業だけか。	多様性も審査の観点であるため、1つの企業だけでは疑問が生じる場合があります。県単位の場合は複数企業またはコンソーシアム等の連合体が望ましいと思います。他方、例えば村が申請される場合、1つの企業というケースはあり得ると考えます。
8 市外の企業が入っていても良いか。	問題ありませんが、大半を外部の企業が占めていて、当該地域の企業がほとんど入っていないということは避けてください。
9 大学からの申請でも構わないか。	問題ありませんが、自治体が関与する必要はありません。
10 選定数に上限はあるか。	特段上限は定めていません。
11 (例えば)当市ですでに市内の企業に名義だけ貸すような、今回の取組と似たような取組を行っている。その上で地方版ラボに申請するメリットは何かあるか。	地方版ラボのロゴが使えることができIoT推進ラボの多くの会員と繋がること出来るのは、メリットになるかと考えています。また、希望に応じてメンバーの派遣も行います。
12 支援メニューのメンターは選べるのか。	メンター支援を希望された場合、誰にメンターになってもらいたいかなど、希望があれば調整は可能です。
13 地方版ラボの名称は「〇〇(自治体名)IoT推進ラボ」という名称だけか。例えば事業名をラボ名に入れられないか。	事業の追加、変更等も考えられますので、「〇〇(自治体名)IoT推進ラボ」という名称のみとなります。
14 地方版ラボのロゴをどこ(どの案件)に使用するか選べるか。	各地方版ラボのキーパーソンが案件ごとに判断することになります。
15 キーパーソンについて申請書にどこまで詳細に記載すべきか。	地方版ラボの中で担う役割など記載していただきたいと思いますが、これまでの実績や有するネットワーク、為人など、個人的な部分については応募書類提出後のヒアリングで確認させていただきます。
16 他の補助金等に申請しているものをラボとして申請しても良いか。	構いませんが、将来的にはビジネスとして自立化を目指すことを前提に申請をお願いします。
17 採択されてからメンバーが増えることは可能か。	採択後にメンバーが増えることは問題ありません。
18 今後、国からの資金支援があることを前提としたテーマで応募しても良いか。	国からの支援はあくまで地方の自主的な取組を加速化させるものとなります。そのため、中長期的な国による支援を前提にしないと事業が進められないものは選定されない可能性がありますのでご了承ください。もちろん、自立化するまでは既存の国の交付金や補助金等の助成制度は、フルに活用していただいて構いません。
19 選定に当たって、他地域との連携は評価されるのか。	他地域を連携していることが、ただちに加点されることはありませんが、他地域との連携によって、地域の強みがより活かせるといったようなことがあれば、加点される可能性はあります。